



2011年9月  
第2号

発行 社会医療法人 福島厚生会  
福島第一病院 内視鏡室

# 胃瘻あれこれ

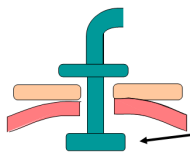
～胃瘻の基礎から管理方法まで～

第2号では胃瘻カテーテルの種類とその特徴、見分け方についてご説明します。  
大きく分けて4種類に分類される胃瘻カテーテルを、当院では胃瘻を利用されている方々の  
生活環境を考えて、使用する胃瘻カテーテルの提案を行っています。

## 胃瘻カテーテルの種類は？

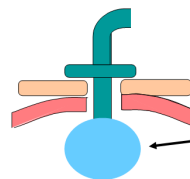
胃瘻カテーテルの種類はお腹の外側の形状と胃の中の形状の違いによって分類されます。

### 胃の中の形状の違い



胃瘻カテーテルが抜けないように胃の中にあるストッパー部分が、変形しにくい形状の

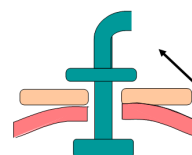
バンパーである



胃瘻カテーテルが抜けないように胃の中にあるストッパー部分が、蒸留水を入れて膨らます

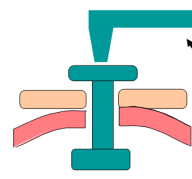
バルーンである

### お腹の外側の形状の違い



お腹の外側に出ているチューブ部分が常に付いた状態になっている

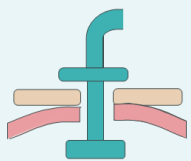
チューブ型



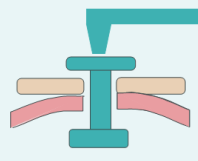
お腹の外側についているチューブ分が取り外すことができる

ボタン型

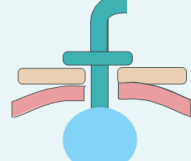
組み合わせて**4種類**に分類



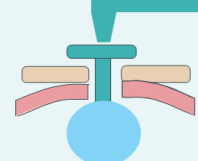
バンパー・チューブ型



バンパー・ボタン型



バルーン・チューブ型



バルーン・ボタン型

\*外観については販売メーカーごとに違いがあります。

どの胃瘻カテーテルを使用するかについては

- ① 活動状態…活発に動く or あまり動かない
- ② 生活環境…在宅 or 施設（特養や老健など）
- ③ 交換場所…病院などの医療機関 or 在宅

などを考えて決定します。

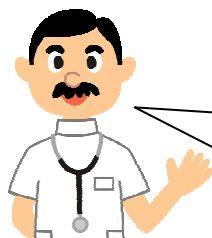
### 胃瘻に関する問い合わせ

福島第一病院 地域連携室 Tel 024-557-6601


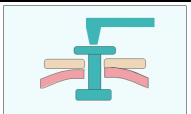
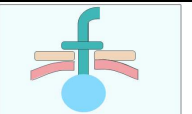
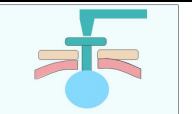
内視鏡室 Tel 024-557-5111 (代) 内線 155

# 胃瘻についての疑問にお答えします！

## Q1：カテーテルの形状によって何が違うの？



A1  
バンパー型とバルーン型の違いは形状以外に、使用期間、日常の管理などに違いがあります。  
ボタン型、チューブ型では管理方法にも一部違いがあります。  
カテーテル形状ごとに長所短所があります。  
カテーテルの形状別の違いを下記にまとめました。

	バンパー・チューブ型	バンパー・ボタン型	バルーン・チューブ型	バルーン・ボタン型
外観	 バンパー・チューブ型	 バンパー・ボタン型	 バルーン・チューブ型	 バルーン・ボタン型
使用期間	4ヶ月～6ヶ月程度		24時間～1ヶ月以内	
交換場所	基本的に医療機関		在宅、施設内でも可能*1	
チューブ部分の洗浄	フラッシングの後、チューブ内に酢水、クエン酸液などの貯留を行う	チューブを外して洗浄後、次亜塩素系消毒薬で消毒可能	フラッシングの後、チューブ内に酢水、クエン酸液などの貯留を行う	チューブを外して洗浄後、次亜塩素系消毒薬で消毒可能
起きやすいトラブル	①チューブに汚れが付きやすい ②チューブ部分があるため、体位変換時、移動時に引っ掛けて事故抜去の危険性がある。	①逆流防止弁があるためつまり易い ②逆流防止弁が不全(閉じなくなる)とカテーテルから胃内容物が出てくる。	①胃内バルーンの水量を1週間ごとに確認しないと水が無くなり抜けてしまう ②チューブ部分があるため、体位変換時、移動時に引っ掛けて事故抜去の危険性がある。	①胃内バルーンの水量を1週間ごとに確認しないと水が無くなり抜けてしまう ②逆流防止弁が不全(閉じなくなる)とカテーテルから胃内容物が出てくる。
その他	お腹から離れた位置で栄養剤と接続出来るので安全に栄養剤をつなげる	お腹に近い位置で接続チューブをつなぐ必要があるので慣れないと不安になりやすい	お腹から離れた位置で栄養剤と接続出来るので安全に栄養剤をつなげる	お腹に近い位置で接続チューブをつなぐ必要があるので慣れないと不安になりやすい

\* 1 カテーテル交換の際は、交換場所がどこであれ確実な胃内留置を確認出来ることが必須です。

\* 2 ボタン型の場合でも自分で掴んで抜いてしまう（自己抜去）危険性はあります。

## Q2：どの胃瘻カテーテルの形状を選べば良いの？

ご家族が胃瘻カテーテルの種類を選ぶのは難しい事です。  
当院では胃瘻を使用されるご本人の状態、生活環境などを考慮して一人一人に最適な胃瘻カテーテルの提案を行っております。  
また、現在使用中のカテーテルで『漏れるために皮膚が荒れてしまう』、『本人がカテーテルを掴んでしまう』などの場合にはカテーテルの形状を変更する事で改善できる場合もありますのでご相談ください。

